



藤野地区町内会連合会

ルピナス 230

第107号

令和2年6月10日(水)



令和二年度を迎えて

藤野地区町内会連合会 会長 吉田 健治

このたびは、誰も経験したことのない異常事態の中で新年度を迎えることとなりました。

令和最初の正月を過ごし、各種団体の新年会が終わりを告げた頃から、世界中が新型コロナウイルスに制圧されてしまい、私たちはあらゆる面で不自由な生活を強いられています。さる二月二十五日に札幌市が外出や会合等の自粛要請を発表して以来、各町内会や老人クラブをはじめ各種団体の総会・懇親会がほぼ中止を余儀なくされました。わが藤野地区町連につきましても同様に、四月二十日開催の理事会（会長会議）において検討協議の結果、新年度の定期総会開催断念を決定するとともに、元年度の事業結果及び決算報告を承認していただき、令和二年度の事業計画及び予算を決定したところであります。皆様のご理解をお願い申し上げます。

様にお届けした記念誌に掲載されております。各町内会の役員をはじめ関係機関の方々にあらためて厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス対策による政府の非常事態宣言は先般解除されましたが、札幌市内は第二波を懸念し、目に見えないウイルスへの警戒はまだまだ続いています。そのため、過日の理事会において、三十回目を迎える「藤野ふるさと祭り」について今年の開催中止を決定致しました。まことに残念ですがご了承をお願いいたします。

私たちは、三ヶ月を超える自粛生活の中で、日頃の地域の人たちとの交流が、いかに大切であるかを再確認しました。コロナ騒動が収束し、町内会や趣味のサークル活動が自由に行える時期は必ずやって来ます。その時まで、今少し頑張りましょう。その意味では、新年度の事業計画がどの程度実施できるか不安ですが、藤野地区十九町内会がさらに連携を深め、乗り切る所存です。皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。

札幌市南区長 着任のご挨拶



札幌市南区長

大平 英人

4月1日付で南区長に着任いたしました大平でございます。

区役所という市政の最前線で、南区のまちづくりの事に携わること、喜びとともに、責任の重さを感じております。

吉田会長をはじめとする町連役員の皆様や藤野地区の皆様には、日頃から南区のまちづくりの推進に特段のご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、今年度は、新型コロナウイルスの影響により、市内の予定されていたイベントや行事が軒並み中止又は延期となり、藤野地区におきましても、同様の状況と伺っております。このような事態が一日でも早く収束することを願うとともに、地域一体となり互いに支

え合い、この困難を乗り越えていければと考えております。

藤野は表情のある山々や美しい豊平川をはじめ、自然豊かなまちです。このような恵まれた環境の中で、藤野地区は環境美化活動や交流イベントの開催など、精力的な取組が行われてきているとのことですので、この蓄積の上に、地域の更なる発展を祈念いたします。

南区役所といたしましても、地域が主体のまちづくりを精一杯支援してまいりますので、藤野地区の皆様におかれましても、より一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

藤野まちづくりセンター 所長 着任のご挨拶



藤野まちづくりセンター 所長

大瀬 秀樹

藤野地区の皆様、初めまして。今年の4月1日付の人事異動により、藤野まちづくりセンターに着

任いたしました。

いつかまちづくりセンターで仕事が出来たいと思っておりましたので、その希望が叶い、大変嬉しく思っております。

実は私は以前(三十年ほど前)、藤野に住んでいたことがあり、当時の藤の沢スキー場や十五島公園にはよく遊びに行った記憶があります。また、自然豊かな地域に愛着を感じておりました。

再びこのように藤野に戻ることができ、深い縁と、「第2の故郷」のような特別な想いを感じているところです。

着任してまだ間もないですが、皆様がいっぱい運動やふるさとまつりなどの地域活動に熱心に取組まれている話をこの間に聞き、ふるさとへの熱い思いとともに、地域づくりの担い手としての責任感と自主・自立の精神に大変敬服の念を抱いています。

第二次藤野まちづくりビジョンにある「花と緑、文化と福祉のまち」、「住んでよかった藤野」を皆様と共に共有しながら、藤野のまちづくりのために、微力ながらも力を尽くして参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

今年の ふじのふるさとまつりは 中止となりました

今年度開催予定だった第三十回ふじのふるさとまつりは新型コロナウイルスにより中止になりました。これにより来年を第三十回とし開催する方向で進めております。

ご了承・ご理解の程よろしく
お願いいたします。



写真：令和元年開催 ふじのふるさとまつり

令和2年度藤野地区町内会連合会の活動について

総務部長 八重崎 泰則

今年度の定期総会は五月六日開

催予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルスエンザ感染拡大の勢いが衰えないため、四役会議（会長・副会長・会計部長・総務部長）にて、ご来賓・代議員等

を含めると九十名余りが参加する総会開催はリスクが多いと判断し四月二十日に、理事会（各町内会長・町連監事）を開催し協議の結果、緊急的対応として総会中止を決定、同理事会において議案等の説明を行い質疑応答後、承認をいただきました

また、例年総会終了後に南区が行っている感謝状贈呈式（長年、町連・各町内会の役員として活躍いただきその任を降りた方が対象）は、コロナ感染の状況を判断して別途実施いたします。

事業計画の柱として、「藤野地区まちづくりビジョン」に基づく基本理念（*みんなで考え、みんなが参加する*地域への誇りと愛着心*いきいきと暮らせる*活動を通じた連帯感）に基づき「花とみどり・文化と福祉のまち藤野」をまちづくりの指針とし各部の活動

が計画されています。

昨年度は、藤野地区町内会連合会創立五十周年記念事業がありましたが、計画された各事業も多くの皆様のご協力により無事終了しました。

今年度は特別な行事等はありませんが各部の連携した活動により「住んでよかった藤野」のまちづくりに全力を尽くしてまいります

一般会計予算につきましては特に大きな増減はありませんが、「地域安全全部費」については、各町内会で使用している「のぼり（交通安全・防犯・防火）の使用頻度が高く更新要望が多いため、更新費用として増額しています。

国の新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言は解除となりましたが、新たな感染は続いています。今年度の各種活動も状況をしっかりと判断しながら実施してまいります。



概要

前年度に引き続き「藤野地区まちづくりビジョン」に掲げる基本理念を根底にして、花とみどり・文化と福祉のまち藤野をまちづくり指針に掲げ、七項目の目標と課題に取り組み、組織一丸となって活動することにより「住んでよかった藤野」のまちづくりに邁進する。

― 各部門別個別活動計画 ―
総務部（重点項目）

- 一、藤野地区まちづくりビジョンの具現化に向けた事業の推進と関係機関との調整を図る。
- 二、会報「ルピナス」の充実により藤野地域の情報発信に努め、各単町間の情報交換を一層緊密にし、各町内会活動の活性化と充実に努める。
- 三、総会のほか必要に応じ四役会、理事会、役員会、専門部役員会等各種会議を開催する。また、各町内会の連携を深め、町内会運営の効率化・レベルアップを図るため、各町内会長による情報交換・交流を深めることに努める。
- 四、藤野地区各単町の連携を深め、住民の一体感を一層高めるため、第三十回藤野ふるさとまつりを実施する。なお実施にあたっては、会場を十五島公園とし、開催時間・会場設営等についても各関係機関との連携により実施する。
- 五、藤野地区内の各単町並びに各種団体等との連携を深めるため、令和三年ふるさと藤野新年交礼会を企画し、開催する。
- 六、恵まれた自然に調和したまちづくりを一層推進するため、花愛好会等との連携を深め、花いっぱい事業を推し進める。
- 七、藤野地域に根ざした伝統と文化を守るため、藤野音頭、藤野太鼓の普及に務めるほか、文化展を開催し、文化のまちとして向上を図る。
- 八、住民のさらなる高齢化、依然として止まらない少子化等に対応するため、各種行政機関や藤野地区社会福祉協議会等と連携し、社会福祉活動の充実強化を図り福祉のまちとしての一層の向上を図りふじの子育てサロンフェスタの実施する。
- 九、安全安心のまちづくりを遂げるため各行政機関等との連携を



深め、自主防災力の強化や研修会等によりスキルアップを図る。
 十、定山溪沿線町内会連絡協議会の一員として、沿線地域課題への積極対応を行なう。

①国道二三〇号線の定山溪区間 拡張事業

②豊平川堤防道路の延長事業

③シーニックバイウェイの一環 としての地域づくり事業

④定山溪沿線地域の公共交通（バス）運賃の不公平の是正について

⑤「小金湯さくらの森」の運営に伴う各種支援。

十一、「藤野地域に図書館づくりをすすめる会」が行う講演会の支援をする。

十二、平成二十四年度定期総会決定の「特別積立金」について、適切に管理し運用する。

十三、各部の事業予算執行にあたっては、経費の節約・効率化に努め充実感ある運営を目指す。

会計部

一、町連会計業務全般、会計監査への対応。

広報部

一、会報「ルピナス230」（一〇七〜一〇九号）の発行。
 （七、五〇〇部）

二、ふるさとまつりチラシ作成。

福祉部

一、高齢者を励ます活動、敬老メッセージを作成贈呈する。

二、藤野子育てサロンフェスタの開催。

三、福祉部長・民生・児童委員合同情報交換会の開催。

四、地区社協ほか関係諸団体との連携、協力、支援。

地域安全部

一、交通安全運動街頭啓発の実施。（年四回、R230号まちづくりセンター周辺）

二、少年消防クラブBFC「ふじの」活動への補助。

三、〈交通安全〉の旗を作成し、各町内会へ配付し意識の高揚を図る。

四、関係会議（札幌地区防犯協会連合会、南防犯協会連合会、南区防火委員会、南区交通安全推進委員会、札幌市南区地区暴力追放運動推進協議会、少年補導員連絡協議会・南警察署少年補導員連絡協議会、安全安心まちづくり道民会議への参加。

五、交通安全母の会による交通安全街頭啓発・新入学児童の啓発。

六、藤野・簾舞地区合同大型店舗にて交通安全啓発。

七、南区女性連絡協議会（九地区女性部）の一員として連携を深める。

体育部

一、少年少女ドッジボール大会の実施。

二、豊栄山（フッズ）登山（3回）

の実施。

三、藤野地区パークゴルフ大会の実施。

四、雪中運動会の実施。

青少年部

一、青少年部長会議の開催。

二、ふるさとふじの子ども会議の開催。（発表予定四校）

三、フッズで遊ぼう。

四、鑑賞会の開催（参加予定五校）に加え藤野太鼓の参加。

五、新春書初め会・新春子どもかゝるた大会の開催。

女性部

一、女性部役員会議・女性部会四回 講習・研修会。（各種出前講座の活用）

二、リーダー研修。（施設見学会）

三、がん検診の推進。

四、女性部新年交流会。（第十四回 女性交流の集い）の開催。

五、交通安全母の会による交通安全街頭啓発・新入学児童の啓発。

六、藤野・簾舞地区合同大型店舗にて交通安全啓発。

七、南区女性連絡協議会（九地区女性部）の一員として連携を深める。

文化部

（協議会会議・意見交換会・施設見学会への参加）

文化部

一、文化展の開催。（九月上旬予定）

二、藤野の文化の普及と伝承。（藤野太鼓、藤野音頭、藤野賛歌）

三、藤野地区センター内「ふるさとコーナー」の展示物を通じ、地域の歴史と文化の伝承に役立てる。

四、環境部長会議の開催。

五、クリーンさっぽろ推進協議会の研修会・役員会等への参加。

六、フラワーガーデンング展の開催。（花愛好会・町連文化部との共催）

七、園芸講習会の開催。（秋の開催は、造園協会からの支援・花愛好会と共催）

八、花いっぱい運動の推進。（歩道美化事業、サポートプログラムとの連携・町内会毎の植栽）

九、花愛好会との連携。（見学会、講習会、交流会）

十、町連資材倉庫整備作業

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、



令和元年度 藤野地区町内会連合会一般会計決算書[期間 H31/04/01~R2/03/31]

収入の部

科目	令和元年度決算額	令和元年度予算額	増減	摘要
繰越金	957,841	957,841	0	
町連合費	1,648,500	1,648,500	0	6,594世帯×250円
市等からの助成金	3,905,347	3,905,347	820,727	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織助成金)
地域振興 町連	749,400	749,400	0	6,594世帯×130円+基準割額(住民組織助成金)
地域振興 単町	1,295,220	1,295,220	0	6,594世帯×130円+基準割額(住民組織助成金)
地域ふれあい事業等	960,000	1,800,727	840,727	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり、防災マツパ
防災活動支援事業	80,000	60,000	△20,000	単町三町内会
募金交付金	120,000	127,889	7,889	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	660,000	747,388	87,388	広告料17万円、会費41万円、日赤4万円、コピー等13万円
その他収入	680,000	1,014,388	334,388	社協使用料50万円、事業所准上補助18万円、町連創立50周年会計より33万円
合計	7,150,961	8,401,303	1,250,342	

支出の部

科目	令和元年度決算額	令和元年度予算額	増減	摘要
諸経費	2,910,000	3,936,525	1,026,525	
事務費	820,000	869,784	49,784	事務用品(文具消耗品、コピー用紙、雑費、通信費、印刷費、コピー機リース16万円)
交通費	100,000	100,000	0	各種行事参加交通費(副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	410,000	426,122	16,122	総会、懇親会11万円、新年交流会29万円、その他経費
会議費	200,000	271,426	71,426	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会議費
雑用費	30,000	46,400	16,400	慶弔諸費用(2件)
渉外費	260,000	260,000	0	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	280,000	279,625	△375	防火2万円、防火2.6万円、消防協議会13.4万円、南区成人式3万円、他6万円
その他経費	810,000	1,683,168	873,168	賃借料72.8万円、損保2万円、除排雪代他7.2万円
事業費	2,070,000	1,888,869	△181,131	
総務部費	50,000	15,779	△34,221	総務諸経費(情報委員会)
広報部費	490,000	491,600	△8,400	ルピナス発行3回、印刷他編集、取材費等
体育部費	210,000	188,883	△21,117	スポーツ・レクリエーション活動(トッチボール、雪中運動会中止減、PG、登山会等)
青少年部費	230,000	218,772	△11,228	ふるさとふじの子ども会議4万円、夏賞金12万円、書初め会1万円、かるた会他2.8万円
女性部費	180,000	171,420	△8,580	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	250,000	237,711	△12,289	敬老マツパ7万円、子育てサロン17万円
地域安全部費	120,000	125,836	5,836	地域安全活動(交通安全、防火、防災、青色回転灯)10.5万円、少年消防クラブ5万円
文化部費	100,000	98,944	△1,056	地域文化展、写真展、藤野文化の伝承等 関連経費
環境部費	140,000	138,288	△1,712	環境清掃、クリーニング、花いっぱい運動(花の栽培研修、カーテニング)
ふるさとまつり事業費	300,000	21,636	△278,364	事業費の負担増に伴う助成金
地域振興 単町 助成金	1,295,220	1,295,220	0	住民組織助成金
募金交付金	120,000	127,889	7,889	日赤・共同募金活動交付金(単町への配分)
防災活動支援事業助成	80,000	60,000	△20,000	十五島・高台・藤ノ丘高台南 各町内会
予備費	675,741	0	△675,741	
小計	7,150,961	7,308,503	157,542	
繰越金(預金・現金)	0	1,092,800	1,092,800	*JA 431,789円 *北門 411,011円 *ふれあい助成金 250,000円
合計	7,150,961	8,401,303	1,250,342	

令和2年度 藤野地区町内会連合会一般会計予算書[期間 R2/04/01~R3/03/31]

収入の部

科目	令和元年度決算額	令和2年度予算額	増減	摘要
繰越金	957,841	1,092,800	134,959	
町連合費	1,648,500	1,641,750	△6,750	6,567世帯×250円(27世帯減)
市等からの助成金	3,905,347	3,058,410	△846,937	
地域振興 町連	749,400	746,700	△2,700	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織助成金)
地域振興 単町	1,295,220	1,291,710	△3,510	6,567世帯×130円+基準割額(住民組織助成金)
地域ふれあい事業等	1,800,727	960,000	△840,727	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり
防災活動支援事業	60,000	60,000	0	
募金交付金	127,889	120,000	△7,889	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	747,388	680,000	△67,388	広告料16万円、会費35万円、日赤4万円、コピー等13万円
その他収入	1,014,388	1,180,000	165,612	社協使用料50万円、事業所准上補助18万円、特例会計より50万円
合計	8,401,303	7,772,960	△628,343	

支出の部

科目	令和元年度決算額	令和2年度予算額	増減	摘要
諸経費	3,936,525	3,270,000	△666,525	
事務費	869,784	870,000	216	事務用品(文具消耗品、コピー用紙、雑費、通信費、印刷費、コピー機リース16万円)
交通費	100,000	100,000	0	各種行事参加交通費(副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	426,122	430,000	3,878	総会、懇親会15万円、新年交流会30万円、その他経費
会議費	271,426	470,000	198,574	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会議費、町連創立50周年懇話会(20万円)
雑用費	46,400	50,000	3,600	慶弔諸費用
渉外費	260,000	260,000	0	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	279,625	280,000	375	防火2万円、防火2.6万円、消防協議会13.4万円、南区成人式3万円、他6万円
その他経費	1,683,168	810,000	△873,168	賃借料72.8万円、損保1万円、除排雪代他7.2万円
事業費	1,888,869	2,530,000	641,131	
総務部費	15,779	30,000	14,221	総務諸経費(情報委員会)
広報部費	491,600	490,000	8,400	ルピナス発行3回、印刷他編集、取材費等
体育部費	188,883	210,000	21,117	スポーツ・レクリエーション活動(トッチボール、雪中運動会、PG、登山会等)
青少年部費	218,772	230,000	11,228	ふるさとふじの子ども会議4万円、夏賞金14万円、書初め会2万円、かるた会他3万円
女性部費	171,420	180,000	8,580	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	237,711	250,000	12,289	敬老マツパ7万円、子育てサロン18万円
地域安全部費	125,836	600,000	474,164	地域安全活動(交通安全、防火、防災)12万円、少年消防クラブ2万円、交通安全展
文化部費	98,944	100,000	1,056	地域文化展、写真展、藤野文化の伝承等 関連経費
環境部費	138,288	140,000	1,712	環境清掃、クリーニング、花いっぱい運動(花の栽培研修、カーテニング)
ふるさとまつり事業費	21,636	300,000	278,364	事業費の負担増に伴う助成金
地域振興 単町 助成金	1,295,220	1,291,710	△3,510	住民組織助成金
募金交付金	127,889	120,000	△7,889	日赤・共同募金活動交付金(町への配分)
防災活動支援事業助成	60,000	60,000	0	
予備費	7,308,503	7,271,710	△36,793	
繰越金(預金・現金)	1,092,800	501,250	△591,550	
合計	8,401,303	7,772,960	△628,343	

町連副会長就任にあたり



藤野地区町内会連合会 副会長

阿部 孝司

令和元年度、任期半ばで健康上の理由により退任されました、田中前副会長（前中央町内会会長）の後任として残任期間の一年間、副会長の任につくことを四月二十日の理事会において確認されました。

東藤野町内会長に就任し五年目になります。町内会会長には経験豊富な多くの先輩がおられる中で何処までお手伝いできるか不安はありますが、役員の皆さんのご協力を頂きながら頑張っています。

今は、コロナウイルスの感染により多くの活動が制限されており、町連の行事にも影響が出ておりますが、一日も早い終息に向けて皆さんの「我慢」で乗り越えていきま

しよう。

私は、現在の住まいである東藤野町内会で生まれ、自然豊かな藤野で両親・子どもや孫たちと生活しており、安心・安全な地として皆さんと共に、藤野の町づくりのお手伝いをしていきたいと思っています。



令和二年度 藤野地区町内会 連合会役員

- | | |
|--------------|--------------|
| 相談役 | 田中 義一 (本通) |
| 会長 | 寺田 良男 (藤野公園) |
| 副会長 | 吉田 健治 (野々沢) |
| | 仙北 英治 (本通) |
| 監事 | 星野 数夫 (藤ヶ丘南) |
| | 阿部 孝司 (東藤野) |
| | 山形 博 (富士見) |
| | 亀井 光一 (白樺) |
| 理事 | 福田 善孝 (第一) |
| | 澤田 勇 (第二) |
| | 船越 盛正 (三区) |
| | 高橋 明利 (十五島) |
| | 飯盛 禮子 (富士見) |
| | 三浦美樹夫 (緑町) |
| | 林 康博 (中央) |
| | 常見 信代 (高台) |
| 遠藤 俊一 (高見台) | |
| 清水 生彦 (白樺) | |
| 阿部 秀樹 (藤野公園) | |
| 廣嶋 啓造 (西藤野) | |
| 岡村 賢美 (白川) | |
| 佐藤 悦子 (藤ヶ丘西) | |
| 船橋 廣光 (藤野団地) | |
| 八重崎泰則 (藤ヶ丘南) | |
| 堀 武 (本通) | |
| 渡部 徹 (緑町) | |
| 曾我部久和 (東藤野) | |
| 木村 雅子 (藤ヶ丘西) | |
| 岡崎 勝邦 (西藤野) | |
| 清野 昭一 (白樺) | |
| 関根 誠 (十五島) | |
| 大熊 成子 (十五島) | |
| 角本 稔 (十五島) | |
| 中兼 建時 (藤ヶ丘西) | |
| 眞保 和子 (野々沢) | |
| 加賀谷 昇 (第一) | |
| 河野 秋子 (西藤野) | |
| 堀 誠一 (第二) | |
| 斎道 弘子 (野々沢) | |
| 弘津真理子 (藤ヶ丘南) | |
| 鈴木かをる (藤野公園) | |
| 伊東 慶子 (野々沢) | |
| 鈴谷加奈男 (藤ヶ丘西) | |
| 岡本恵美子 (本通) | |
| 古川 和夫 (第二) | |
| 八幡 忠幸 (三区) | |
| 市原 武幸 (三区) | |

編集後記

ルピナス一〇七号では、人事関係の記事を収載しました。南区長さん、まちづくりセンター所長さん、町連の新しい副会長さんら。今の状況を考えれば例年のように手放しで、というわけにはいきませんが、新年度への息吹を感じていただけたのではないのでしょうか。

広報部でも私（渡部）が部長の任に当たることになりました。非力ですが精いっぱい務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

とはいえ、会長の言葉にもありましたが、事業の行方には不透明感をぬぐえません。新型コロナウイルスとは長い付き合いになるのでしょうか。ルピナス一つをとってみても、紙面に何を載せるか、どのように載せていくのか。これまで以上に難しい問いを突き付けられたの作業になりそうです。

ルピナス第一〇七号

令和二年六月十日発行

発行人 吉田 健治

編集人 渡部 徹

印刷所 日光広告(株)

連絡先 五九三〇二二五(高橋)